

キリストの復活からペンテコステまで〔要約〕

使徒1:3~11

- 3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。
- 4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。」
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」
- 6 そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」
- 7 イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。」
- 8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」
- 9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。
- 10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。
- 11 そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

イエス様が復活されて、40日の間、弟子たちとともにおられ召天された。
そして10日後にペンテコステが起こります。

(A) イエス様は復活されたあと、40日間、弟子たちとともにおられた。
使徒1:3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

(1) 神の国

(ア) 現在、「神の国」の王様は、イエス様です。

(イ) 現在、神の国の市民は、福音を信じた神の子供です。

(ウ) 「神の国」=「千年王国」

ヨハネ 1:12 しかし、この方(イエス様)を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子ともとされる特権をお与えになった。

(2) イエス様は、ご自分が復活されたことを示された。

復活されたイエス様と40日間も一緒に生活しなくても、

復活されたイエス様を1度見ればわかることです。

ルカ 24:36 これらのことを話している間に、イエスご自身が彼らの真中に立たれた。

ルカ 24:37 彼らは驚き恐れて、霊を見ているのだと思った。

しかし、弟子たちは復活されたイエス様を見て幽霊だと思ったのです。

それほど、復活は信じがたいことなのです。

マタイ 16:21 その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。

マタイ 16:22 するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始めた。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」

マタイ 16:23 しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

ペテロは、直接イエス様から復活の話聞いても、信じられなかったのです。信じられないだけならまだよいのですが、イエス様をいさめ始めたのです。イエス様はペテロに「下がれ、サタン。」と言われたのは、復活を否定するのはサタンだからです。使徒の働きメッセージは、復活することのできる神様をあなた方は十字架につけたと、復活を信じなかった人々を責めたのです。復活はイエス様が神様である証拠なのです。この復活を否定することは、イエス様が神様であることを否定することです。

(B) 聖霊のバプテスマ

使徒 1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。

JBBF では「聖霊のバプテスマ」はイエス様を信じた時に受けると教えています。

1コリント 12:13 なぜなら、私たちはみな、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです。

しかしロイド・ジョーンズは「聖霊のバプテスマ」は神様が特別な働きをされるときに、与えられるものだと教えています。

使徒 2:4すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。これは世界宣教のために与えられたものです。

使徒 1:8しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」
これも使徒 2:4 と同じです。聖霊が使徒たちの上に臨まれたのです。

エペソ 5:18 また、酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。これは、人間が求めたら与えられるものです。「酒に酔う」とは酒の影響を受けることですから、御霊に満たされるとは、聖霊の影響を受けることです。

Ⅱコリント 13:13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。
聖霊の影響を受けるためには、聖霊様とよく交わらなければ、影響を受けません。

Ⅱペテロ 1:21 なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。
聖書は聖書記者によって書かれました。しかし、聖書記者は自分の考えを書いたのではなく、聖霊を通して神様が語られたことを書いたのです。ですから聖書を読んで、聖霊様と交わることが出来ます。

ヨハネ 14:17 その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。
聖霊様は、神の子供のうちに住んでおられます。

Ⅰヨハネ 4:8 愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。
神の子供であるクリスチャンのうちに「愛なる神様」が住んでおられるのです。
なんと感謝なことではないでしょうか。

(C) イエス様の昇天

使徒 1:9 こう言うてから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。
使徒 1:10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。
使徒 1:11 そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

これは、「イエス様が地上で行われることはすべてやり終えられた、あとは聖霊様に頼ってやりなさい。」ということです。

ヨハネ 16:7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたにとって益なのです。それは、もしわたしが去って行かなければ、助け主があなたがたのところに来ないからです。しかし、もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところに遣わします。

(D) 祈りに専念していた

使徒 1:14 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。
これは非常に誤解される場所です。「聖霊のバプテスマ」は祈って与えられるものではありません。神様が特別な働きをするために使徒たちに一方的に与えられたものです。これは使徒の働き全体を通して神様が祈りに答えてくださったことを教えているのです。今は、役員2人と私とでインターネットを通して祈禱会を持っています、とても恵まれます。

婦人の方は家内が葛西教会まで来て祈禱会を持っています。
祈禱会を希望される方があれば私に言ってください。
二人一組で私を入れて3人で祈禱会をしたいと思います。